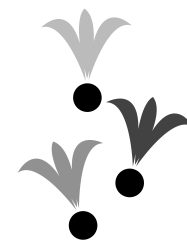




NPO法人 緑・ふれあいの家広報

緑地域活動協議会 平成26年 新年号



NPO 法人緑・ふれあいの家
(緑地域活動協議会)
代表者 久木 勝三
広報委員会
大阪市鶴見区緑3-3-3
電話/FAX (06) 6915-6333

謹んで初春のお慶びを申し上げます

『先駆ける街づくり』 理事長 久木勝三
午年の新年、皆様にはお健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。
昨年は、7年後のオリンピックの開催が決まり、日本中が沸きたちました。長く低迷が続いた日本の経済も、消費マインドの向上と共に回復し、一挙に活況を呈してきた事実感される所です。停滞していた政治にも、安倍首相の誕生とともに、日本として地位向上の流れが確立してまいりました。破産寸前の大阪市の財政状態は、橋下市長の努力なども有り、着実に回復してきていると思われまます。
しかしながら実情は、まだまだ安心できる状況ではありません。大阪市の人口減少と高齢化は着実に進行中で、これに伴い福祉等の関連予算についても、毎年増加しております。大阪の地盤沈下に至っては未だに先が見えず、今後の展望が見えていないのが現状かもしれませぬ。私達の地域は皆様のご協力の下、昨年

「NPO 法人緑・ふれあいの家」を設立致しました。社会的にも地域そのものが、法人格(株式会社等)を有した事になります。目的とするところは、地域住民自らが主体となる街づくりであり、それぞれの特性を尊重し活かしながら「安全・安心」な地域社会を実現する事です。しかし、今後こうした目的を推進する為には、今までのように行政機関(区役所等)頼みでは、未来の我が町は見えませぬ。危機的な大阪市の財政的事情が大きく影響してくるからです。今後の地域活動推進を考える時には、今までのように「金銭的・人的・物的」な行政機関からの支援を期待することなく、「地域はみずからの自立と自己努力」が、今後の「我が町づくり」の前提条件となってまいりました。
その上で、地域事業活動や運営では、透明性を担保しながら公平に事業展開を図る事が大事であり、地域住民に広く参加を求めた確かな計画の基で、事業の展開を執行する必要があります。地域の事業計画立案に

おいては、今必要とされる事業の仕分けや利益還元によって次世代に事業予算として投資できる環境の整備なども必要となりますが、地域が自立する為には、自らが組織作りや地域内広報等に取組む事はもちろん、市役所や区役所による間接的な助言や支援組織・機関の援助が最も大切な事になります。
この様に地域自立には、行政機関としてのスキルや助言・支援能力が今後問われる事となってまいります。
今地域が求めている事は、「一過性のイベント事業や、押し付けられた行事」などではなく、地域それぞれの特性や利便性を伴った事業であり、子々孫々長いスパンで求められる「街づくり」そのものです。
この鶴見区住民が求めるものは、住民自らがいつまでも住み続けたい「自分達の街づくり」が目的であるはずで、今年からは、こうした信念をもって一歩でも前進出来るよう努めてまいります。

都倉区長インタビュー

新春第一弾、鶴見区長に話を聞いて参りました。話題は多岐にわたっておりましたが、今回はその中の一部をご紹介します。



都倉 尚吾 鶴見区長

緑広報委員 (以降 M) : あけましておめでとうございます。よろしくお祈りいたします。
まず、現在の鶴見区の印象は区長就任当時から比べてどのように変わりましたか。
都倉区長 (以降 T) : おめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。そうですね。もともとと思っていたことですが地域の結びつきが強いという実感を強くしています。しかし、若い世代を中心に、もっともっと地域活動に参加いただく余地はまだあるという思いを強くしています。

M : 鶴見区の課題についてお聞きします。
T : 30・40 歳代の若い世代の人たちと地域活動の結びつきをさらに強めるよう、学校や鶴見緑地を活用したいろいろなイベントを企画していきます。私は同じ目的を持って活動し、共感していく。すなわち、お互いを知る、相手のことを解かろうとすることが結びつきの始まりとなると思っております。
次に、鶴見区の魅力を、言い換えれば、お買い得感を発信していきます。地下鉄が通っていて交通の便がよく、学校・病院も整備されていて、公園も近い。さらに住みやすい街にして、もっときれいな街にして、その魅力を発信していきます。それと、子ども達が増えて学校が狭くなっていることも課題ですし、鶴見緑地や鶴見区民センターなど鶴見区の資産をもっと有効に使うことも重要と考えております。
また、区内の南北での交通の便などが悪く、交流ができていないと感じるところもあります。このように課題は言い出したらきりがありませんが、小さいところから積み上げていくことが重要と思っております。
M : いわゆる子育て世代の若い世代の人たちが参加する、参加できるアイデアはお持ちですか。
T : 鶴見区の人口ピラミッドは、30 歳代 40 歳代の方が一番多くなっています。いわば若い次世代の方の人

口比率がトップでそれが強みでもあります。
今回、皆さんが区政に参画し、評価していく区政会議を作りました。そのメンバーには若い方も入っていただき、その意見をちゃんと聞くということを意識しております。もちろん、高齢者や障がいをお持ちの方が安心して暮らせるまちでなければならないことは当然で、そういった方々にもメンバーになっていただいています。いろいろなシーンで鶴見緑地を使っていただくことを考えています。区役所と地域が一緒になってこつこつとやっつけていこうと思っております。
M : それでは最後に、今年の抱負をお聞かせください。
T : 区長 2 年目に入りました。地域活動協議会を中心に各地域の人たちと区役所がさらに結びつきが良くなるよう取り組んでいきます。
また、今年には昭和 49 年に鶴見区が城東区から分区して、40 周年にあたります。音楽祭、体育祭とか。何か記念になることをやっつけていこうと思っております。そこでもやはり地域の人たちが主役で、子どもたちがニコッと笑っているというシーンが一日でも多くあればいいなど。ここを目指して行こうと思っております。
M : どうもありがとうございました。

祝 成人

町会	男性	女性	合計
1 北町会	3 名	7 名	10 名
1 中町会	4 名	8 名	12 名
1 南町会	0 名	1 名	1 名
2 町会	5 名	2 名	7 名
3 町会	5 名	5 名	10 名
3 西町会	3 名	1 名	4 名
3 東町会	1 名	1 名	2 名
4 町会	0 名	1 名	1 名
合計	21 名	26 名	47 名

今年緑地域で成人を迎えられた 47 名の皆さんおめでとうございます。自分の行動に責任の持てる素晴らしい大人になることを願うとともに、ご活躍をお祈り申し上げます。現代の若者の率直な気持ちをご紹介します。

「成人式を迎えるにあたって」 3 町会 男性
私はわがままです。20 年という節目の年に振り返ってみると、たくさんわがままな。とそう思うのです。留学に行かせてもらったり、海外にひとりで行ってみたい、その他もろもろ、たくさん心配をかけたと思います。これからはかけ続けることだと思いますが…たくさん経験させてくれた親に感謝です。これからはわがまま野郎をよろしく。

「成人を迎えるにあたって」 2 町会 女性
成人を迎える、それは私の中でちょっとした記念日でしかない。二十歳になる、それで私の中の何かが変わったのだろうか。これから何を考え、どう振る舞えばいいのか、成人式という日を迎えれば少しはわかるのだろうか。今はただ、漠然とした「社会への責任」とかいったものを紐解いていくばかりである。

新春インタビュー 今年も安全・安心!!



緒方 稔 鶴見警察署長

《緒方警察署長インタビュー》

緑広報委員(以降M):おめでとうございます。署長さんが赴任されて鶴見区の印象はどうですか?

警察署長(以降O):おめでとうございます。今年も宜しくお願いします。着任後、各地協等の会議や催しに参加するにつれ、地域でのボランティア活動が想像以上に活発になされているのを知りました。地域ごとに「子ども見守り隊」「青色防犯パトロール隊」「ひたたくり防止レディース隊」「わんわんパトロール隊」等、活発に活動されている姿を見て、鶴見区の安全で安心なまちを支えているのだと強い印象を受け頭が下がる思いです。緑地域は久木会長を中心として地域の方々が一生懸命に活性化活動しておられる地域として、警察としても非常に力強く感じております。

M:前所属はどちらでどのような仕事をなされておりましたか?

O:大阪府南部の第三機動隊で勤務しておりました。機動隊は重要防護施設の警戒警備・警護警備等のほか、街頭犯罪の予防・検挙活動や被災地の災害警備など、幅広く活動しております。そのため、隊員は日々厳しい訓練に励んでいます。

M:昨年は鶴見区内の街頭犯罪が減少したと伺っていますが、特に気になった犯罪はありましたか?

O:鶴見区における昨年の街頭犯罪発生件数は一昨年に比べ減少しましたが、ひたたくりや自転車盗は増加しており、まだまだ防犯対策が必要な状況です。また、高齢者を狙うオレオレ詐欺や還付

金詐欺等、特殊詐欺事件が多発し、息子を名乗る男に1000万円騙し取られる被害もありました。警察も、各種会合や高齢者食事サービス等に署員がお邪魔し注意喚起しておりますが、まだまだ十分に浸透しているとは言えず、今年も引き続き被害防止のため力を入れていきたいと思っております。

M:犯罪に遭わないために特に注意することはありますか?

O:区内で発生したひたたくりは全て自転車の前籠からの被害であり、ひたたくり防止カバーを付けていれば防げたのではないかと思います。鶴見警察では毎月、管内施設をお借りしてキャンペーンを実施し、「カバーの無料取り付け」を行っています。「あまちメール」でも案内しておりますので、ぜひ参加して頂きたいと思っております。

M:今年の方針などがあれば教えてください。

O:「安全なまち鶴見」を確立するために、街頭犯罪対策、生命・身体を脅かす犯罪対策、少年対策、交通事故抑止対策等につきまして、自治体や事業者、地域住民皆様のご協力を得ながら署員一丸となって取り組んでいきます。地域皆様もご協力をお願いします。

M:有難う御座いました。



河合 靖 鶴見消防署長

《河合消防署長インタビュー》

緑広報委員(以降M):おめでとうございます。早速ですが、消防署の業務についてご説明願います。

消防署長(以降K):おめでとうございます。今年も宜しくお願いします。消防といえば火災・救急と思われがちですが、件数的に多いのは救助で「高齢者との連絡が取れない」と言うことでご親戚やヘルパーさんからの要請が多いですね。

M:救助とは意外でしたが、次にこれまでに一番印象に残ったご経験はなんですか?

K:消防に入って31年になるのですが、やはり阪神・淡路大震災での経験ですね。当時は西淀川消防署勤務でしたが、震災後三日目に捜索活動の応援で現地に入りました。実際にはご遺体・ご遺骨の捜索です。捜索中に、一旦避難所に避難したが、その後行方不明のお爺ちゃんを捜している青年と出会いました。そのお爺ちゃんはいつも小銭をポケットに入れて市場に座っていたとのことでした。市場の焼け跡を皆と鉄骨などをどけて捜していると小銭が落ちていた所に遺骨らしきものを発見、焼けた空き缶に入れ持ち帰ってもらいました。青年が警察で鑑定してもらい、人骨であったとお礼を言いに来たのが一番印象に残っています。われわれ消防は人を助けるのが仕事ですからお

助けできなかったのは非常に辛いことでした。

M:次に冬に気を付けることを教えてください。

K:冬場は煮炊きに時間のかかる料理が増えますが、火から目を離さないでいただきたいのです。また、カートリッジ式石油ストーブの給油は必ず消火後に。カートリッジタンクの蓋を閉めたつもりが不完全で灯油がこぼれ引火する火災が多く発生しております。

M:1/25に緑地域防災訓練を行うのですが、参加者の意識を高める為にはどうすればよいでしょうか?

K:特効薬はないですが、出来るだけ多くの人に繰り返し参加して頂きイメージしていただくことが大切です。一人ひとりが意識をもって具体的な行動をおこしていただくように。消防としても地道な取り組みを一緒に進めてまいりたいと思っております。

M:最後に鶴見消防署として区民の皆様には要望はありますか?

K:消防署だけでは住みやすい区にはなりません。地域の方と一体となって防火防災に取り組む必要があると考えます。私が鶴見区に赴任して感じた事は地域活動が非常に活発であるということ。鶴見区は市内でも比較的災害件数が少ない地域ですが、救急については高齢者も多く出動件数も多いです。今後とも力を合わせ安心安全な鶴見区を目指し頑張っていこうと思っております。

K:有難う御座いました。

緑の防犯ボランティア

緑地域の有志が地域安全のために活動しています。今年もよろしくお祈りします。

【緑青色防犯パトロール隊】

大阪府警察の講習を受講した隊員27名が交代で2名1組にて月曜日～金曜日に青パト巡回しています



【鶴見防犯協会地域防犯部緑支部】

緑地域の防犯活動の担い手。各種行事には警備・パトロールに従事しています。



【子どもたちをみまもり隊】

緑老人クラブ連合会会員の方々が子ども達の登下校の時間に見守り隊カードをかけて見守り活動をしています。子ども達の見守り活動は女性会・PTAも協力して行っています。

【鶴見ひたたくり防止レディース隊 緑支部】 鶴見警察署長委嘱隊員



ひたたくり防止キャンペーンや各種防犯行事で「女性の敵は女性が撃退!」を合言葉に活動しています。平成20年に全国地域安全運動中央大会で警察庁長官より「全国防犯協会連合会防犯功労団体賞」を頂きました。

【わんわんパトロール隊】 鶴見警察署長委嘱隊員



毎日している愛犬との散歩。その散歩の時間に住んでいる町のパトロールをしよう!というのが「わんわんパトロール」です。隊員条件★鶴見区内在住★犬の登録済み★狂犬病の予防注射済みの飼い主の方で地域の防犯活動に興味をお持ちの方です。只今隊員募集中!とのことお問い合わせは鶴見警察署防犯係まで 06-6913-1234 内線263

1/25(土)9:45~ 緑地域防災訓練 サイレン鳴ったら先ず各町会一時避難場所へ!!

NPO法人緑・ふれあいの家ホームページ <http://midorihureainoie.jimdo.com/>
フェイスブック・ブログもあります。「NPO法人緑・ふれあいの家」で検索していただくか、ホームページからご覧ください。